

フードロスが多い

長野県上田染谷丘高校1年 4組
氏名小宮山 爽稀

この課題に関わるSDGsの番号

12 つくる責任
つかう責任



この目標の第3項に2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。とある

テーマ設定の理由

フードコートなどでよく食べ残しを見るから

中学の頃給食の食べ残しが沢山あったから

現状

FAO(国際連合食糧農業機関)の報告書によると、世界では食料生産量の3分の1に当たる約13億トンの食料が毎年廃棄されています。

日本でも1年間に約612万トン(2017年度推計値)もの食料が捨てられており、これは東京ドーム5杯分とほぼ同じ量。日本人1人当たり、お茶碗1杯分のごはんの量が毎日捨てられている計算になります。

課題

食品ロスは、各事業所や家庭での廃棄の積み重ねによって、**社会全体で環境負荷や資源の無駄使いなどの問題を招きます**。食品を焼却処理する際に排出されるCO₂が地球温暖化の要因となる温室効果を助長します。食品ロスが増えることで、結果的に地球温暖化を進行させてしまうのでそれを止めること

解決策

- 食べきれない食品を買いすぎない。
- 食べられる分だけ調理する。
- レシピサイトを検索して余った食材を調理して使い切る。
- 食べきれなかった食材を冷凍などをして保存する。
- 外食時は食べきれる量を注文する。
- 買いすぎた食品や余った贈答品はフードドライブなどへ寄付する。
-

10代からの提言

フードロスが地球温暖化を進めてしまういま食糧難で苦しんでいる人たちもいる中で食べ物を粗末にするのは良くないと思う

感想

フードロスが自分の家でも起きていることをこのスライド作成中に気が付いてショックを受けた
だからこれからはまずは自分からという気持ちでフードロスやほかのほかのDGsにも取り組んでいきたい